2015年5月3日

発力 行 ト IJ ク 仙台司教区 ツ 980-0014

> 方々が司教と 祭・信徒の

仙台市青葉区本町 1-2-12 Tel(022)222-7371 Fax(022)222 広報委 行責任 URL http://sendai.catholic.jp/

No.223

私たち

主におい

聖香油ミサ説教

司教

平 賀

徹

ちはこうして 生きるように 果たしながら た使命を共に から与えられ 主・キリスト 教会です。 す。わたした を表すもので 修道者の一致 司祭・信徒・ たわたしたち 呼び集められ 台教区という のミサは、 てささげるこ ともに集まっ 一つの教会に 「主において 一つ」である

れた者です。 と呼び集めら

今日の第一朗読(イザヤ書)と おられる。主がわたしに油を注 です。「主の霊がわたしの上に 福音書(ルカ)で読まれたこと どのような使命でしょうか。

地域からできるだけ多くの司 参集くださいました。教区内全 この「聖香油のミサ」によくご 信徒・修道者の皆様、本日は しい人に福音を告げ知らせ、捕らわ がれ…わたしを遣わされたのは、貧 れている人に解放を、目の見えない 人に視力の回復を告げ、圧迫されて いる人を自

です。フラ のところへ えば、苦し の中で、「神 音の喜び』 的勧告『福 皇様は使徒 ンシスコ教 げる使命、 となってあ って、助け 出かけて行 んでいる人 言で言

自分にとって快適な場所から出て に現れています。…わたしたち皆が、 行って、福音の光を必要としている 隅に追いやられたすべての人に、そ いる "行け"という原動力がつね じる者たちに呼び起こそうとして のことばに 神が信 に追いやられた人々を訪ね、喜びを 届ける業を果たし続けられるのは、ト

欠だ。

守

います。 ているのです(20)」とおっしゃって れを届ける勇気をもつよう招かれ

出しました。他の人々とは比較にな 深々と頭を下げられたことを思い ら広場の群衆に向けられた第一声 き、聖ペトロ大聖堂のバルコニーか そういえば、2年前の教皇就任のと 務をしっかり果たせるようにお祈 ろしく」ということでしたが、それ 変ですがわたしたちは元気に頑張 とを改めて実感してきました。出か 問し、日本の現役の全司教方と一緒 ために神に祈ってください」と、 が、「皆さん、今、まず、わたしの りでいつも助けてくれるよう伝え だけではなく、「わたしが教皇の任 お返事は「ありがとう。皆さんによ ので、そのことを申し上げました。 お伝えください。東日本大震災で大 ちの会合に招かれたとき、「教皇様 グループ・あけの星会の役員さんた ける前の2月、仙台塩釜地区の女性 台教区という教会だけではなく「普 に教皇様に謁見してきました。「わ まで、アド・リミナでバチカンを訪 っていますからと」と言われていた に日本に来てくださいと、よろしく 遍教会の交わり」にもあてはまるこ たしたちは主において一つ」は、 てください」とも言われたのでした わたくしは、 3月19日から 27 仙 日

ということ めである」 の恵みの年 由にし、主

を告げるた

らない激務に就いておられる方が、 時間を作って自らスラムの貧しい 人々や病院、少年院など、弱い、隅 ぐためには日常の血の通った関わりが不可 思った」▼私たちは事件の報道で衝撃を受 と言った▼川崎で、13歳の男子中学生を殺 月24日の独格安航空機の墜落事件の主犯 うになるために▼上に持って行くだけでな えているのではないか。イエスは「私の母と けるが、そこから聞こえてくるのは孤立し ルビッツ副操縦士は恋人に「いつかすべて なる▼問題の解決には下に向けて縮めなけ 上に持っていくことは荒立って騒ぎは大き 理者を出せ」「責任者出てこい」のように。 イ12・28)▼誰にも聞いてもらえなくなると くれる関わりが広がることを望んだ。(マタ は誰か。私の兄弟とは誰か」と一緒に考えて けない。」(マタイ23・10)。 問題を未然に防 課題には偉そうにいう専門家も教師も必要 報によって社会とつながる▼様々な人生の 立した人間の住む現代社会は、人伝えの情 ればならない。当事者たちすべてが立つよ くなる。大きくなれば引っ込みがつかなく なると解決を上に持っていこうとする。「管 の中に平和が隠れている▼関わりが希薄に した18歳の少年は「誰かに止めて欲しいと 誰もが僕のことを知り、忘れないだろう のシステムを変えることをやって見せる。 平和な話はニュースになりにくい▼去る3 囲気は家庭にも容赦なく入り込んでくる。 絶えない遣り切れないものになる。その雰 でない。「あなたがたは教師と呼ばれてはい 横に広げるだけで解決に結びつかない。 孤 から学ぶことは多い。
普段何気ない関わり 沈黙を破って一気に噴き出す▼紛争や事件 てどこにももって行き場のない憐れさだ。 命の泉 人はことを起こす前に何らかの気持ちを伝 つも騒然として殺伐しい紛争やトラブルが 「説明責任を果たせ」というのも問題を

うに世界とか世の中の動きに接して 性のある衝撃的なものだ。そんなふ らないことはいうまでもないが、 いると私たちの住んでいる世界はい 新聞は最新情報を伝えなければな

ハ々の

### 庭

平賀 徹夫

2015年3月17日、長崎教区で信徒発見150周年を記念する 大きなお祝いがありました。そしてこの日は今後、 日本のカトリック 教会の典礼で、「祝日」として祝われることになりました。

江戸時代は幕府の鎖国政策と徹底的な禁教による苛烈極まりないキ リシタン迫害の時代でした。高山右近や司祭(バテレン)たちは国外 追放され、信徒は棄教か死かと迫られる弾圧を受け、寺請制度と宗 門人別改めによる毎年の徹底的な取り締まりがなされました。 は破壊され、追放や殉教によって司祭は一人もいなくなった状況下で、 信者たちは仏教徒を装いながら潜伏キリシタンとなって生きる苦難の 暮らしを強いられました。いつやむかわからない迫害下にあって、 らも固くデウスを信じそれを子に伝える親たちの信仰の強さ、 れを受け継ぎさらに孫へと伝えていく人々の信仰の強さを思います。 そしてそれが7世代も続いたのです。「救い」への切望でしょうか。

幕末期になると日本は開国せざるを得なくなり、パリミッション会 の司祭が来日して1862年に横浜に、そして1865年には長崎に天主堂か 創建されます。その長崎・大浦天主堂献堂から約ひと月後、3月17日、 プチジャン神父のもとに「ワレラノムネ、アナタノムネトオナジ」 告げて浦上村の人々が現われた、という史実です。

長崎での信徒発見150周年のお祝いのすぐ後、日本の司教団は カンを訪問して教皇様に謁見してきました。私の記憶に残っている教 皇様からのお尋ねは、「あなたの教区では"家庭"はどのようですか?」 「司祭・修道者の召命はどうですか?」ということです。最初の質 問には「多くの家庭は信仰を大切にしています」とお答えしたものの、 長崎の信徒発見にいたる250年の迫害下の人々が大切にした信仰心に 比してわたしたちの熱意はどのようなものであるか、幼児洗礼の減少 や青少年の教会離れが嘆かれているなどの現代、胸を張って 信仰を大切にしています」と言えるかな、と申し訳ない思いに襲われ ました。また、召命の状況についても、家庭の信仰心に深く関係して いると同時に、教区を挙げての神への深い信頼の祈りの問題でもある と思った次第でした。

ち自身のために主の霊に願い求 さを生きておられるからでは わなければならないという謙虚 びを表して生きる力をわたした キリストが教えてくださった喜 まりの皆さん、わたしたちがキリ 主の霊のもとにあっても、 のため、そして仙台教区の司祭方 てください。司祭職へと招かれた 今日この聖香油のミサにお り助けをいつも必 また、特にわたくし 主の福音 要とし願 自分は ましたが、今またここで、心を新 とりは、司教と、列席してくださ 更新」を行ないます。 を記念するこの日「司祭の約束の きるように 謙虚さをもって、教会と世界に仕 たにしてその約束を更新いたし った司祭、信徒・修道者皆さんの をうけるとき、わたしたち一人ひ たちにも与えてくださったこと えるその使命を果たすことがで その司祭職を使徒たちに与え、私 つくすことをはっきりと約束し 司祭団の皆様、 神と教会とに自らをささげ 主・キリストが

叙階の秘跡

ストの教会として、

かと思います。

8

5 月 • 6月

同司式ミサ

18 16 14 13 12 11 5 金 承 承 奥 勇 **金** 子どもと女性の人権デスク 福島ブロック会議 カリタス釜石 司祭評・定例会・司祭団役員会

20 総長·管区長研修会 聖ドミニコ学院中・ 宣教司牧評·役員会

(サクラ・ファミリア)

21

S

教区司祭月例会 部落差別人権委•狭山市民集会 事務局会議

 $\oplus$ 用 仙台教区修女連総会 社会司教委・63 シンポジュウィ

30 25

25 23 22 15 14 13 9 A S S  $^{\tiny lacktrightarrow}$  $\oplus$ 火 26 全国カト小 19 定例司教総会 司祭団月例会・教区財政評 名古屋教区新司教着座式 第5地区堅信式 司祭評・役員会・司祭団役員会 第二地区(弘前教会 (東仙台 教頭研修 高校長

29 27

30

 $\oplus$ 

喜多方千草

-幼稚園50周年

教団の共同謁見 ③ 教皇と日本司 ② 記念撮影 ④日本司教団共 交わす平賀司 教皇と握手を

礼を受けた方々に喜びの声を寄せていただいた。「神の子」と ドラマと、確かな神の導きが読み取れる。 して新たな人生を踏み出した方々には、入信までの様々な人生 復活祭には各教会で「入信の秘跡」が授けられた。この日洗

マキシミリアノ・マリア・

外崎 拓(とのさき ひろし) (男・50代)

張してきました。

やっぱりボルテージが上がり、緊

日であることが感じられました。

洗礼を受けて 青森本町教会

からの段取りを頭で繰り返してし

お説教が始まったものの、洗礼

ていました。 は、平常心でいけると思っ し、場慣れしている、受洗 当日は本に書いてある 1年間も教会に通った でした。 まい、耳に の連願が 入りません

諸聖人

体の頂き方もよく知らない り強く印象付けたいと思 のに気付きました。よく読 ったからです。 通り、断食してみました。 しかしそういえば、ご聖 初聖体を、自分自身によ 弟になるん くこの方々 と私は兄 連綿と続 古代から 始まったと き、そうか

め

んで、家で何回か一人で練

だ、この

方々が、も

習しました。

ました。 との知らせのようにも思え ました。「受洗の日である」 したが、腹がグーグー鳴り て会社に行き仕事をしま 平常心を保とうと、あえ う近くにお りました。

代父も、私より先においで になっていましたし、列席 教会に行くと、神父様も

聖水が、火照った頭にとても気持

ち良かったことだけは覚えていま

礼儀正しく頂けたと思います。 な気がして、一気にいただきまし とき、「ん?どのくらい頂けばい そして初聖体。ご聖体は指針通り たが「男ならためらうな」、そん た。とても良い香りでした。 いんだろ」と気付き、躊躇しまし しかしカリスの御血を口に付けた 「白い衣」と「堅信」が終わり、

ホッとしました。 ていました。

ているんだと思うと、胸が熱くな

いでになっ

もう頭がいっぱいでした。洗礼の ましたが、壇上に上がったときは、 信仰宣言は、つつがなく終わり

神父様が「あ、全部飲まなくて、

者も普段よりとても多く、特別な

いい」とおっしゃっ

しい修道院を訪ねました。中に入

平和な気持ち、幸福 な気持ちになれまし 歌を歌いました。と ました。みんなで聖 ても安らかな気持ち、 みんな笑ってくれ

アンナ T(匿名希望) ソフィア (女・40代)

ま東京での学生時代、調布のノー 境で過ごしてきましたが、たまた キリスト教とは無縁の環 元寺小路教会

> トルダム修道会にある学生寮に入 りました。

ずに学生生活を終え、その後数十 う)特にキリスト教に興味も持た 押し付けられたと感じたのでしょ は少々辛いものがあり、(きっと そこで私はたくさんの友人に恵ま の貧しい生活を過ごしました。 年、私は神様とは全く無縁の、 お祈り、聖書研究会必修等、私に れました。ただ門限7時、 温かい雰囲気の家庭的な寮で、

たのが聞こえたとき に「口を付ける程度 う」。神父様が代父 でもいいから」とお には、もう飲み干し っしゃるのが聞こえ、 「ああ、どうしよ これってどういうことなのか?私 ことで、寮時代の同期6人で懐か り、みんなと喋っているとき…私 はっと気付いたのです。この人た は自問自答しました。そのとき、 ように、私には見えたのです。(友 何か静かな光を内側に持っている 友人たちが「内側から照らされて は不思議な感覚に襲われたのです。

いる」とでもいうのでしょうか、

かされた。

とは、自分と向き合うことに気付

毎週のミサで、神と向き合うにこ

調整しながら生き方を探している 私もその一人。自分なりに心を微

人間とは本当に弱い存在である

ちに歩んで行きたいと思っていま アナスタシア

たシスターに会いに行こうという ある日、寮時代にお世話になっ 毎日の うになり、按手をして祝福をいた る。 になった。少しだけ神に近づけた 通っていた時代には、洗礼を受け 伊藤 眞理子 (女) ようなとても清々しい想いを感じた だいた時、 ける習慣がなかったと記憶してい ていない人が神父様から祝福を受 2年前、再び教会に足を運ぶよ 幼い頃、祖母に連れられ教会に 何とも不思議な気持ち 畳屋丁教会

きることを励まされている。深く 仰生活に不安がない訳ではない。 感謝したい。 わる喜びもあるが、これからの信 しかし、神のみことばより日々生 洗礼を受けて、新たに生まれ変

人たちは全員クリスチャンです)

だから照らされているんだ!と。 ちは神様と共にいるからなんだ、 そして願いました。私も、神様と そのとき、私の心は自然に開かれ、 大内 倫子 (みちこ) クララ

> (女・60代) 元寺小路教会

洗礼を受け、私はとても自由に 2015年聖霊にみたされて

共にいたい!と。

ときには甘え?ながら、喜びのう 元寺小路教会での洗礼をようやく 許されました。ト って亡父母のお墓参りした時、 面の羊雲を見ました。 1月に、久しぶりに兄弟が集ま 2 月、 空

なった感じがします。神様に祈り、

3月、信じられないこと

C

**S** を見ました。い ふれる澄んだ音色を奏でる 復興ミサ、そして、信仰あ 祈っている両親 ロッシーニ歌劇場管弦楽団 機卿様とオーケストラが来 に、母校にバチカンから枢 つも安らかにと てくださいました。鎮魂・ 聖金曜日、虹

なった方々が、 とっては、結婚40周年の記 義父、祖父母、 をのんびり眺めました。 念コンサートになりました。 叔父、お世話に 中を白い鳩が飛んでいるの バイオリンの音色。私に の演奏。在校生の心に響く 4月、聖木曜日、青空の

方がありませんでした。 ゼントしてくださり、涙が出て仕 思ってもみなかった花束までプレ き、胸がいっぱいになりました。 られ、代母の方にプレゼントして も大安、そして迎えた復活徹夜祭 いただいたベールをかけていただ では、平賀司教様より洗礼を授け の良い小春日和、しか 聖土曜日は、気持ち

たすことが出来ました。 洗礼。長い年月の末、ようやく果 27年前、土井神父様と約束した

> 勉強を教えてくださいました皆様 渡辺神父様はじめ、助け励まし、 深く聖霊を感じた2015年。

に感謝申し上げます。

を深めていきたいと思います。 バーになったことを意識し、信仰 会の方々に紹介され、教会のメン 日曜日、復活祭で、元寺小路教

### 出 ガラシャ 佳代子 (女・30代)

然に入ってきてしまう外国からの 私が洗礼に導かれるまで 私の世代は、子どもの頃から自 元寺小路教会

です。

洗礼式(元寺小路教会) 思います。 多かったように を感じることが などから、キリ だったため、寛 ションスクール スト教の雰囲気 ニュースや映画 容な心で、課程 大学がミッ

今は亡き片岡学長先生から影響を 導いて下さった が修了するまで

その夜の光輝く満月。

いるように感じました。

虹の橋を渡って

受けました。 ら教会に通い、ある日、光の訓示 彼女は、奈良県という古へいにしえ たSさんの影響を強く受けました。 を感じ、シスターとなり、宗教の の仏教色の強い土地柄で育ちなが さらに、2年間学校で一緒だっ

> 間にとって避けられないことを、 対応できるようになっていました が、子どもの頃、 "死"という人

たロワゼール神父様に感謝しなが かっていました。日本においては、 受けたことも、ずっと心に引っか ら、一歩ずつ信仰の道を歩みたい かなと思うのが正直な気持ちです 標榜して生きていくことがつらい 神(光)のもとに帰る (Return) と が、入門勉強会で、導いて下さっ いう考え方をすることに、感銘を 私たちは、2012年10月、

## 仙台センター

られました。現在、1400名以 を変えるような経験をしています。 上のボランティアが、各地で人生 体は、Points-Coeur(フランス語 たちによって始められたこの共同 で「心のドット」の意)と名付け エリー・ドゥ・ルスィ神父と青年 の中でも、最も貧しい地域で、ティ 1990年、ブラジルの大都市 「心の港」をご紹介します

その地で、現地の人々と共に生活 きています。世界中から集まった 常時180人の若者が、この使命を生 てから「心の港」と呼ばれるよう しています。 人々は、1~2年間、派遣された 私たちのこの名称は、日本に来

の港」のセンターは、 になりました。 世界中の様々なところにある「心 簡素な家を

ます。また、ホームレスの人たち

の炊き出し、ホスピスでのお手

伝いなどの活動をしています。

「心の港」という名前には、二

集まれる愛の温かさを感じられる 利用し、子どもも大人も、誰もが 私たちの仲間です。 場所です。その家に集う人々が、 通りの意味があります。

付によって共同生活、祈り、ボラ 活を送っています。 ンティア活動を中心とした日常生 人のメンバーが、スポンサーの寄 一つのセンターにつき、4~5

に来日しました。 人のメンバーと共 苦難に立ち向

4

点を置くことに決 う気持ちが強く、 る東北の仙台に拠 震災で苦しんでい 私たちは東日本大 寄り添いたいとい かっている人々に め、活動を開始し

ことができるようになりました。 ずつ日本のみなさんと心を通わす 教えてもらったりしながら、少し 学校に通ったり、地域の人たちに とは大変でした。しかし、日本語 などでボランティア活動をしてい なければなりませんでした。 まず初めに私たちは日本語を学ば 訪問、仙台、石巻、米川、大船渡 今では、震災各地の仮設住宅の 初めのうちは、 日本語を話すこ

> 青年ボランティア共同体の使命が のみ手の中で成就する不思議な出 心を大事にしています。天の御父 の個人的な出会いを通じて、さび らしていたように、未知の人々と ナザレの家で、心を一つにしてく 会いの中でこそ、「心の港」という しく孤立している人々に寄り添う 1. イエス、マリア、ヨセフが 仮設でのボラ な役割りを果たしま 休ませるという大事 迎え入れ、ゆっくりと い航海を終えた船を に送り出しますし、長 います。港は船を大海 みやすい名称だと思 でもあり、とても親し の町や村には、どこに め、大小様々な海沿い 輝き始めるのです。 2. 港は仙台をはじ

り、「母なる教会」にも通じる「や としてとてもふさわしい、しかも という呼び名はこの共同体の名前 さしさ」と「寛さ」の染みこんだ 味わい深い名前だと思います。 イメージがありますので、「心の港」 「港」には、母性愛の響きがあ 「母港」という言葉が示すよう

します。 ます。どうぞよろしくお願いいた り添い続けていきたいと思ってい を育み、困難を抱える人たちに寄 これからも地域の人たちと友情

(「心の港」 責任者 シルヴィ・ミュレル)

ました。しかし、

先生の資格を取得しました。 の存在感にも、価値観にも少しは そのころ、20代で、このお二人

## いのちの光フクシマ 私たちはどのように生きるべきか

### 原発事故前、 今からー

3期の取り組み

を聴いた。2日間で延べ約18が人参加した。 有志らで実行委員会を立ち上げ実施したもので、今回は昨年に よる司祭の声、現地の人々の声を聴き、「いのち」の在り方につ 発から最も近い生活圏にあるカトリック原町教会から、ミサに 度目の爆発を起こし、フクシマの運命を変えた日。福島第1原 会。3月15日(日)は、原町教会で10時から、ミサと被災地の声 次いで2回目。今年は、前日(3月14日)に元寺小路教会で講演 いて共に考え、メッセージを発信していこうと、原町教会信徒 2011年3月15日は、 東京電力福島第一原子力発電所が3

### Ħ 元寺小路教会

考える会)が「原発事故後を して講演した。 どのように生きるか」と題 (NPO法人 使い捨て時代を ◆槌田 劭 (つちだ たかし) 氏 定外のことは無視していた。

炉心が崩れると思った。原 福島原発の事故が起きた 原発は確実に破損する、

思い及ばない。 するんだとの思いで、 子力を利用して、みんなを幸せに 学技術者の思い上がりがある。原 子力の利用に関しては、 危険性には いる。 自分だけ」という生き方になって

うの光 3-15 フクシマ

葉で逃げている。 今回の事故も、 想定外という言

原発の安全神話を生み出し、

想

豊かさは、金権主義と結びついて かけ離れているのではないか。 いる。私たちが感じる、幸せとは な世界、明るい未来のエネルギー 原発によってもたらされる豊か 今の社会では、「金だけ、今だけ、 科学技術によってもたらされる 今回の事故で破たんした。

ちは、「自然」と「いのち」を大 が自分でできることをする。共生 切にして生きることが大切ではな らやましがらない。自然からの恵 いに貧しさを分かち合う)、人をう (共に助け合って生きる)、共貧(互 いか。そのためには、一人ひとり 緑豊かな島、日本に生きる私た 大地をしっかり踏みし

> すぎる現代人の生き方に警鐘を鳴 金銭的豊かさと、科学技術に頼り めて生きることが大切である。と、

平和を求める運動を自信を持って 続けて欲しい。と、呼びかけた。 くなれば、核兵器は造れなくなる。 相反するもの。世界中の原発が無 「いのち」と「原子力エネルギー」は、 さらに、講演後の質疑応答で、

公民館で講演会を行った。 講師か

見るようになり、

夜眠れない日々



に経験について話した。 動に参加し 原発反対運 会世話人)が、 氏 (小高九条の ◆志賀勝明

賛成だった。所属していた浪江町 業関係者のほとんどは原発建設に その危険性が叫ばれ始めた。 原発」の建設計画に対し地元でも して原発反対に取り組んだ。 発に関する学習会に参加し、 対もなく稼働を開始したが、「第2 危険性について学んでから、 その時私は、25歳だったが、原 そのころ、小高町も浪江町の漁 福島第1原発は、それほどの反 その 一貫

対訴訟原告団40名の1人として 風当たりも強くなり、 次に、「浪江・小高原発」の計画が 八分の状態になった。 それでもめげずに「第2原発」反 ほとんど村 とんどが建設賛成派だったため、

の請戸漁業組合も、町も町民もほ

会は、原発誘致を決議した。 東北電力で進めらると、浪江町議

師仲間からは、「海で何があっても というのがその理由だった。 団長となり、原発建設阻止のため、 お前を助けないぞ」と脅された。 補償金が入ることで町がうるおう その後、漁協から除名され、 原発誘致による、補助金や漁業 27歳の時、小高町連合青年団の

間が増えてきた。 これを機に、原発反対を唱える仲 ぎていることなどの指摘を受けた。 問題、日本では原発を楽観視しす ら、原発の危険性、廃棄物の処理

断念された。 2013年「浪江・小高原発」は

識を持つことが大切だと強調した。 取り組んだ経緯を淡々と話し、一 ◆**込堂**(こみどう)**あす美**さん (浪江町 て原発建設の反対運動に粘り強く 人ひとりが原発に関する正しい知 様々な困難に遭いながら一貫し

原町二中1年・

使の話。 ふくしま復興大

たところの放射線量が高いという 守ろうと、必死で情報を集め、 の後、原発の事故で最初に避難し 大震災と津波が起こったときは、 幼少期を過ごしていたが、東日本 何も持たず身一つで避難した。そ ことで、大人たちは子どもたちを 安

> 全なところを探し回ったことを覚 えている。

事故後、甲状腺や内部被ばくの

検査が多く、将来何か大きな病気 に新しく生活するアパートが決ま 日々が続いた。 ったが、その頃から恐ろしい夢を にかかるのではないかと不安な 震災から1ヶ月程して南相馬市

遅れている。オリンピックよりも あふれる場所にしたい」と話した。 島県を世界中のどこよりも希望で としてフランス・パリで行われた 復興を優先してほしい」と訴えた。 ほしい。そして、まだまだ復興が り、「笑顔こそが復興の始まり。福 た。これまでの避難生活を振り返 の人々の笑顔に勇気づけられてき ル塔を望む公園で、これまで周囲 んなに恐ろしいものかを理解して 「東北復幸祭」に参加し、エッフェ 大人への願いとして、「原発がど 昨年8月に、ふくしま復興大使



原町教会でのミサ

## 東日本大震災復興チャリティー チカンより日

### 仙台公演を終えて

現地日本で祈りを捧げたいと 牲者の鎮魂を目的に、2013 リティーコンサートが、被災犠 いう教会関係者やイタリアロ オロ大聖堂で行われました。 シーニ歌劇場管弦楽団の夢を 3回目となる2015年には 東日本大震災復興支援チャ 2014年にバチカン聖パ 実行委員長 大谷哲夫 って、 駐日教皇大使 ら同枢機卿と ました。 ジョゼフ・ チ

開始に先立 コンサー

15

時

団との共演をもって、 氏が指揮する45名の のもと、ダニエーレ・アジマン 度実現の運びとなったのでした。 榛葉昌寛氏の尽力により、この 文科大理事長)様やテノール歌手 二歌劇場管弦楽団は現地合唱 モンテリーズィ枢機卿随行 (駒澤大学元理事長・総長都留 ロッシー 同司式で鎮魂 司祭による共 リオのマリア 司教他3名の 聖堂満席の中 にささげら エノットゥ大

口

京都、 掛

モンテリーズィ枢機卿主司式の鎮魂ミサ

窓会「萩の子」及び有志を含む100において、東北大学混声合唱団同 の伴奏と共に、モーツアルト作曲名の合唱団が、イタリア管弦楽団 大合唱で被災地の思いを世界に 「レクイエム」全曲の精魂込めた 次いでレジナ・

と宗教を超えた壮大な音楽によ る「心の絆」プロジェクトであ 向かって発信しました。 これは世界に例を見ない

伊豆下 において公演を行いました。 申 仙台、 陸前高田、 感動極まる体験でした」と、 っていて、歌いながら涙しました。

台白百合学園を会場に開催され宮城県では、3月20日(金)、仙 3月20日(金)、 様に、またイタリアからの演奏者 を述べていました。 ご来場いただいた千人近い

心とする仙台 夫司教様を中 員長の平賀徹 これも実行委 盛会の中に終 感銘を与える 教区信徒の皆 了できました。

等によるご理 教育関 様をはじめ、 仏教界や企業 係

解とご支援のお蔭でございます。 として、バチカンよりオリーブの ここに仙台公演実行委員一同、衷 のキャンパスで、子どもたちと共 苗木2本が贈られました。本学園 を心からお祈り申し上げます。 災された方々の「癒しとなぐさめ 心より感謝申し上げ、合わせて被 なお、この被災地公演の記念樹

-チスホ

ル

仙台公演副委員長・仙台白百合学園 中学高等学校長 青木タマキ

に大切に成長させて参りたいと存

## 第5地区広報誌創刊準備号

演奏者と観客の一

4

ホ

ル

中に

体感がみなぎ から く発刊しようという試みは早く 第5地 広報紙を 一日も早

刊することが決まりました。

当の創刊号は4月の連絡協

こで決まっ

たことの公表をかねて

発

今後は

連絡協議

会の

開催

後に、

ありました。

後の

発行となりま

この セ

機

紙

1月 カ で ら 3 月

昨年の12月

方々に深い 習として作っ 稿を集め、 の間に皆で原

台公演は、 陰様で無事、 このたびの仙 ことができた た。 5地区連絡協 に 6 決定されまし てみることが それは実 回目の第

> 以外の教会が3 6教会には仙台

です。第5地区内

教市の

写真による交

流

プト

は各 関

教  $\mathcal{O}$ 

会含まれています。

てもそう簡単

で

口に交流と言

出来たのがこの創刊準備号です。 議会においてでし 広報担当者を中心に記 今回、 各教会から選品 さ れ

たように思い

第5地区通信 事を集め、 た が かは が埋めた ありま

生まれました。 いとの思 せ その距離感をなんと

第5地 区広報担当代 この機

上野隆 (西仙台教会)

### 「わたしとわたしたち」

アメリカ住まいの1年以来、長いこと英語の祈祷 当たり前な話であるが, 本を使っている。 日本語 と違って主語の単数、複数がはっきりしている。 "Our father  $\sim$  ", 主の祈りでは 信仰宣言では "I believe" と単数、複数が明確であり、祈りの 主体がハッキリしている。英語の祈祷本を使う理 由の一つである。

ずうっと気になっているのは、主の祈りのうちに ある「わたしたちも人をゆるします」。祈りの主体 は1人称単数の「私」。「私も人をゆるす」 可能です。しかし、「わたしたち」と複数形を僭称 しても良いものだろうかと疑問に思ってしまう。

自分なりの答えは、主の祈りは信仰共同体の祈り である。祈る主体は個であっても働きとしては共 同体の一員であり、それ故「わたしたち」と祈る ことに等しい。

この解釈が正しいかどうか疑問。でも代案は未だ 無い。

ともあれ、祈る主体を意識するとマンネリ防止に 役立ちます。これは体験的怪我の功名?

地球を大事にする会 白石

# 「国登録有形文化財に」カトリック十和田教会

妻の玄関を

屋根の木造2階建てある。
7 月に竣工されたロマネスク様式の切妻た、同教会は、昭和7年1月に起工、同年た、同教会は、昭和7年1月に起工、同年録するよう下村博文文部科学相に答申されりック十和田教会を、国の登録文化財に登りが分十和田教会を、国の登録文化財に登りがの本書の大化審議会によってカト

設計は、当時日本で活躍した有名なスイ



様式)で、正面の切妻屋根の鐘楼を戴き、切り様式(11世紀から12世紀にかけてヨーク様式(11世紀から12世紀にかけてヨーある。とにかく、日本では珍しいロマネスある。とにかく、日本では珍しいロマネスの建築士マックス・ヒンデル氏による。



窓にはスイス製のステンドグラスがはめら窓にはスイス製のステンドグラスがはめらいた。また、建物全体が十字形であり、毎年数組の結婚式を引き受けている。また、生物組の結婚式を引き受けている。また、一年数組の結婚式を引き受けている。また、一年数組の結婚式を引き受けている。また、一年数組の結婚式を引き受けている。また、一年数組の結婚式を引き受けている。また、一年数組の結婚式を引き受けている。

(第二地区担当司祭 佐々木 博)

# 第2地区東部の「冬物語」

います。 マルコ・アントニオ神父は、昨年6月、大湊から三沢教会司祭館に居を移し、第2 地区の司牧宣教の一端を担っておられる。 地区の司牧宣教の一端を担っておられる。 から こ沢教会司祭館に居を移し、第2 マルコ・アントニオ神父は、昨年6月、

にミサが始まります。 後3時、大湊教会では、第2日曜午後2時信徒数3名の野辺地教会は第3火曜日午

会いに行くような気分になるのは、雪景色回を重ねるたびに、離れて暮らす家族に

ん。な出会いでたな出会いでかなりません。

した。 地区制実施か

での移動のご特に冬季の車

の尊さに思いを巡らしています。苦労と、それぞれの地でささげられるミサでの移動のご

(三沢教会 中野 勝弘)=写真=野辺地教会の祭壇

# 生涯養成講座



世記からレビ記でいるですが、それいのですが、それいのですが、それいのですが、それが入り乱れ、頭をが入り乱れ、頭をが入り乱れ、頭を

たので、大変助かりました。 大事なところを指摘して説明していただいですが、今回の講義では、それぞれの書のですが、今回の講義では、それぞれの書の

哀歌を書いていますが、それでも神のあわ破壊され、民が見捨てられたことを嘆いて、歌の講義でした。エレミヤはエルサレムが一番印象に残ったのは、エレミヤ書・哀

後の晩餐で新しい契約が結ばれ、罪が許さ後約60年経って、イエス様が遣わされ、最時罪が許されると書いています。エレミヤめて新しい契約を結ぶ日が来ること、そのれみを信じ、エレミヤ書31章には、神が改れみを信じ、エレミヤ書31章には、神が改

れました。

されるものと思っていました。最後の晩餐でも、現在のミサでも、罪が許私はエレミヤのことを知らなかったため、の罪の許しが、ようやく得られたのでした。

エレミヤの預言にあるような広い罪の許ないのが不思議です。

を結ばれました。
い時代があって、新しい時代が来たと講話切っても切り離せない関係があること、古切っても切り離せない関係があること、古ッゲル神父様は、旧約聖書と新約聖書は、

礼申し上げます。(上堂教会 田畑健司)覚めさせていただいたことを心から厚く御ず、毎回力強くお話しいただき、聖書に目神父様は、不自由なお身体にもかかわら

### 【告知板】

| ◆ 春の後藤寿庵祭

主催:カトリック水沢教会平和な社会実現のために祈ります。ミサをささげ、災害防止と豊作祈願、場所:「寿庵廟堂」(水沢区西田)前)日時:5月31日(日) 午前10時から

皆様のご参加をお待ちしています。

### 水沢教会と後藤寿庵 絵はがき」を作成

りました。 信仰を守り通した信念の人でもあ 堰)を掘り、貧しい人を助け、また、 市水沢区福原の地を治め、堰(寿庵 主 後藤寿庵は、現在の岩手県奥州 今から約40年前、 キリシタン領

平野の開拓者後藤寿庵と水沢のキ リシタン」。 がきを作りました。タイトルは、 だきたいと、8枚組のカラー絵は 寿庵の偉大さをもっと知っていた 「東北キリシタンの光、胆沢(いさわ) 水沢教会の聖堂の内部や、

〒023 - 0863 岩手県奥州市水沢 沢教会宛てにお申し込みください と、切手(1組9円)を同封し、水 所・氏名を記入した封筒(洋形2号) 差し上げます。ご希望の方は、住 (「絵はがき」は無料です) この絵はがきは、ご希望の方に

区川端 191-1 カトリック水沢教会 昌 神父 宛 TEL 0197 - 25 - 7707

### 「絵はがき」の封筒

### シスター 木村

3 月 **29** ド・ノートルダム修 旦 心不全

### 平賀司教司式で

3月14日 (土) 14時より

夕方にミサをささげることで終了 持ち、 聖体顕示と祈りの時間を これは、教皇フランシス が行われた。 2年ぶりに「聖体賛美式 間」(3月13日~14日に、 れた「主にささげる24時 コが全世界に呼びかけら 元寺小路教会大聖堂で、 人々の告解を聴き、

主にささげる24時間



聖体顕示器を持って 祝福する平賀司教

体顕示器」を持っての祝福で終了 が繰り返され、最後に司教の「聖 る「聖歌歌唱」「黙想」(深い沈黙) よる福音)に続き、先唱者による 「黙想への招き」、さらに会衆によ 平賀司教の福音朗読(ヨハネに

と時だった。 ゆだねる心地よさを味わえたひ 厳かな中にも黙想の中に身を

(元寺小路教会 山本博)

コングレガシオン・ きぬ

天 96歳のため福島市の中央病院で帰

1919年 1949年

も広く活躍した。 の明治学園、 勤務。修道者としては、北九州 院で教鞭をとったほか、奈良と は、東京の聖母病院、その他に 長も務め、一般男女への宣教に 東京調布で宣教し、共同体の院 明るく、気さくな性格で、 看護師の資格を持ち、入会前 福島の櫻の聖母学 老

シスターマリア鈴木ミヤコ

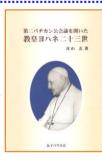
若男女に広く愛された。

する)の一環として行われたもの。

道女会 オタワ愛徳修 94 歳 4月14日帰天

らも愛された。その後、特養老 ホーム」等で奉仕。 ケ丘スペルマン病院に勤務 1967年3月18日 初誓願 1965年5月5日 入会 1921年9月2日 生れ 1972年3月20日 終生誓願 ハホーム「暁星園」、 に接し「優しい婦長さん」と誰か いつも穏やかな笑顔で病む人 入会以前から看護師として光 「弘前大清水

葉は「信頼」で、その言葉通り たえ、感謝していた。好きな言 決して不平不満をもらすことな 年間寝たきり状態となったが、 く、訪れる人にいつも笑顔でこ 涯を奉献した。 父なる神への信頼のうちに全生 人ホーム「パルシア」に入所。8 2007年病に倒れ、



## 一バチカン公会議を開いた

会/定価:700円+税 2世が列聖されたことは、皆さまに 23世と、福者教皇ヨハネ・パウロ 大きな喜びをもたらしました。本書 ンシスコによって、福者教皇ヨハネ 2014年4月27日、 玄/発行:女子パウロ 教皇ヨハネ二十三世 教皇フラ

の目が注がれています。 たこの教皇の偉大さに改めて人々 催を宣言し、反対する人々の言動を ます。この第二バチカン公会議の開 価した教会のニュースが流れてい たものです。 ユーモアで応え、開催までこぎつけ 最近、第二バチカン公会議を再評 本書は、教皇ヨハネ23世につい

編集後記 

葉をいただいたということです。 けられた方々に、喜びの声を寄せ復活祭を迎え、入信の秘跡を受 さんにお伝えください」とのお言 に祈ってくださるよう教区の皆 とお会いになった時、「私のため るよう応援したいと思います。 喜びのうちに信仰生活を送られ たに共同体に加えられた方々が、 ていただきました(3・4 り)。新 これを受けて、私たちも教皇様 司教様は、アドリミナで教皇様 ボジア活動報告」

ころから、生まれたものです。 てほしいしいう声をあげられたと のです。この講演を聴いた司祭が、 大変よい講演なので、ぜひ出版し ての講演記録が小冊子になったも

感じ取られたものも含め、 司祭で、第二バチカン公会議の前 会史の専門家として著名な神言会 後7年間をローマに留学し、 体験を積まれた方です。 その講演をなさった著者は、 貴重な 肌で

な小冊子といえるものです。 教会の状態、社会情勢などから第 一バチカン公会議を考察した貴重 現代の教会のことを述べるの ヨハネ23世の生い立ち、当時の

は、この教皇ヨハネ23世を紹介し

よう。 は、読者の皆さまにとっても、 べき教皇ヨハネ23世を知ること われています。本書によって、こ 益な精神的糧が得られることでし の歴史を切り開いた偉大な、愛す しては、語ることはできないと言 に、第二バチカン公会議を抜きに

りましょう。 者としてのご苦労にエー のために祈り、 全世界の信徒の牧 - ルを送

光3・15」の集い(5 p)が行わコンサート」(6 p)、「いのちのカンから復興支援チャリティー ことを忘れず、寄り添っていく教れ、私たちは、被災された方々の 会の姿を感じます。 「奉献生活の年」のコラム、「カン 東日本大震災から4年、「バチ

します。 原稿、情報提供に感謝。(岩井)

今回はお休み